

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 4 年 10 月 26 日(2022.10.26)

【公開番号】特開 2022-122151(P2022-122151A)
【公開日】令和 4 年 8 月 22 日(2022.8.22)
【年通号数】公開公報(特許)2022-153
【出願番号】特願 2021-19259(P2021-19259)
【国際特許分類】
A 6 3 F 7/02(2006.01)
【F I】
A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

10

【手続補正書】
【提出日】令和 4 年 10 月 18 日(2022.10.18)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

識別情報の変動表示及び停止表示を行うことが可能な識別情報表示手段において識別情報
を変動表示させた後停止表示させることが可能な識別情報表示制御手段と、
遊技に関する状態を制御可能な状態制御手段と、を備え、
前記状態制御手段は、
第 1 の開始条件が成立した場合に、第 1 の状態を開始させることが可能な第 1 状態開始制
御手段と、
第 2 の開始条件が成立した場合に、第 2 の状態を開始させることが可能な第 2 状態開始制
御手段と、
前記第 1 状態開始制御手段により前記第 1 の状態が開始された後、所定の終了条件が成立
した場合に、前記第 1 の状態を終了させることが可能な第 1 状態終了制御手段と、を備え
、
一の単位遊技が行われることにより前記所定の終了条件及び前記第 2 の開始条件が成立す
る場合、該一の単位遊技の制御が開始された後、次の単位遊技の制御が開始される前に、
前記第 1 状態終了制御手段による状態の終了及び前記第 2 状態開始制御手段による状態の
開始を制御可能であり、
前記識別情報表示制御手段は、前記状態制御手段により制御される状態が所定の状態であ
る場合には、識別情報の停止表示が行われてから第 1 の待機時間が経過したときに識別情
報の変動表示を行うことが可能である一方、前記状態制御手段により制御される状態が特
定の状態である場合には、識別情報の停止表示が行われてから第 2 の待機時間が経過した
ときに識別情報の変動表示を行うことが可能である、
ことを特徴とする遊技機。

30

40

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 7
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 0 7】

(1) 識別情報の変動表示及び停止表示を行うことが可能な識別情報表示手段におい

50

て識別情報を変動表示させた後停止表示させることが可能な識別情報表示制御手段と、遊技に関する状態を制御可能な状態制御手段と、を備え、前記状態制御手段は、

第 1 の開始条件が成立した場合に、第 1 の状態を開始させることが可能な第 1 状態開始制御手段と、

第 2 の開始条件が成立した場合に、第 2 の状態を開始させることが可能な第 2 状態開始制御手段と、

前記第 1 状態開始制御手段により前記第 1 の状態が開始された後、所定の終了条件が成立した場合に、前記第 1 の状態を終了させることが可能な第 1 状態終了制御手段と、を備え

10

一の単位遊技が行われることにより前記所定の終了条件及び前記第 2 の開始条件が成立する場合、該一の単位遊技の制御が開始された後、次の単位遊技の制御が開始される前に、前記第 1 状態終了制御手段による状態の終了及び前記第 2 状態開始制御手段による状態の開始を制御可能であり、

前記識別情報表示制御手段は、前記状態制御手段により制御される状態が所定の状態である場合には、識別情報の停止表示が行われてから第 1 の待機時間が経過したときに識別情報の変動表示を行うことが可能である一方、前記状態制御手段により制御される状態が特定の状態である場合には、識別情報の停止表示が行われてから第 2 の待機時間が経過したときに識別情報の変動表示を行うことが可能である、

ことを特徴とする遊技機。

20

30

40

50